

上映会 感想集



シロウオ

—原発立地を断念させた街—

シロウオーそれは守りたいものの象徴…

仕事を
地域を守りたい
故郷を
自然を守りたい

「シロウオ～原発立地を断念させた町」

私たちは未来を、選べるのかー

原発立地を断念させた町と、今なお原発事故の被害に苦しむ町。
まず、知ることから始めてみませんか。



A2-B-C

同時上映

フクシマで生きる子どもたちに、
今何が起きているのか

日時: 2015年3月8日(日)

場所: 松江市市民活動センター504

前売り1200円 当日1500円(2作品・トーク込)

シロウオ/2013年/105分、A2-B-C/2013年/71分、トーク/30分

10:00～ シロウオ
11:55～ 「シロウオ」監督トーク
13:30～ A2-B-C
15:00～ シロウオ
16:55～ 「シロウオ」監督トーク
17:40～ A2-B-C

- 主催者: シロウオ・A2-B-C上映委員会、松江キネマ倶楽部
- お問い合わせ: 090-2003-6623(とむ・昼間) 090-7990-9490(山本・夜間)

上映記録

映画「シロウオ」と映画「A2-B-C」

日 時:2015年3月8日(日)

10:00～11:50「シロウオ」

11:55～12:30「シロウオ」監督トーク

13:30～14:45「A2-B-C」

15:00～16:50「シロウオ」

16:55～17:30「シロウオ」監督トーク

17:40～18:55「A2-B-C」

場 所:松江市市民活動センター(スティックビル)504講義室

入場料: 前売券1200円、当日1500円

主 催:シロウオ・A2-B-C上映委員会/松江キネマ倶楽部

松江キネマ倶楽部

検索

映画「シロウオ」

監督:カサコ

製作・脚本:矢間秀次郎

撮影:中井正義

録音:田辺信道

水中撮影:山口敬志

ナレーション:大橋ひろこ

題字:村松昭(アトリエ77代表、絵地図作家)

法務:竹澤克己弁護士(新千代田総合法律事務所)

エンディングテーマ:『魂の輝き、それはFと共に』

作曲:岩代太郎

時間: 105分

製作年:2014年

映画「A2-B-C」

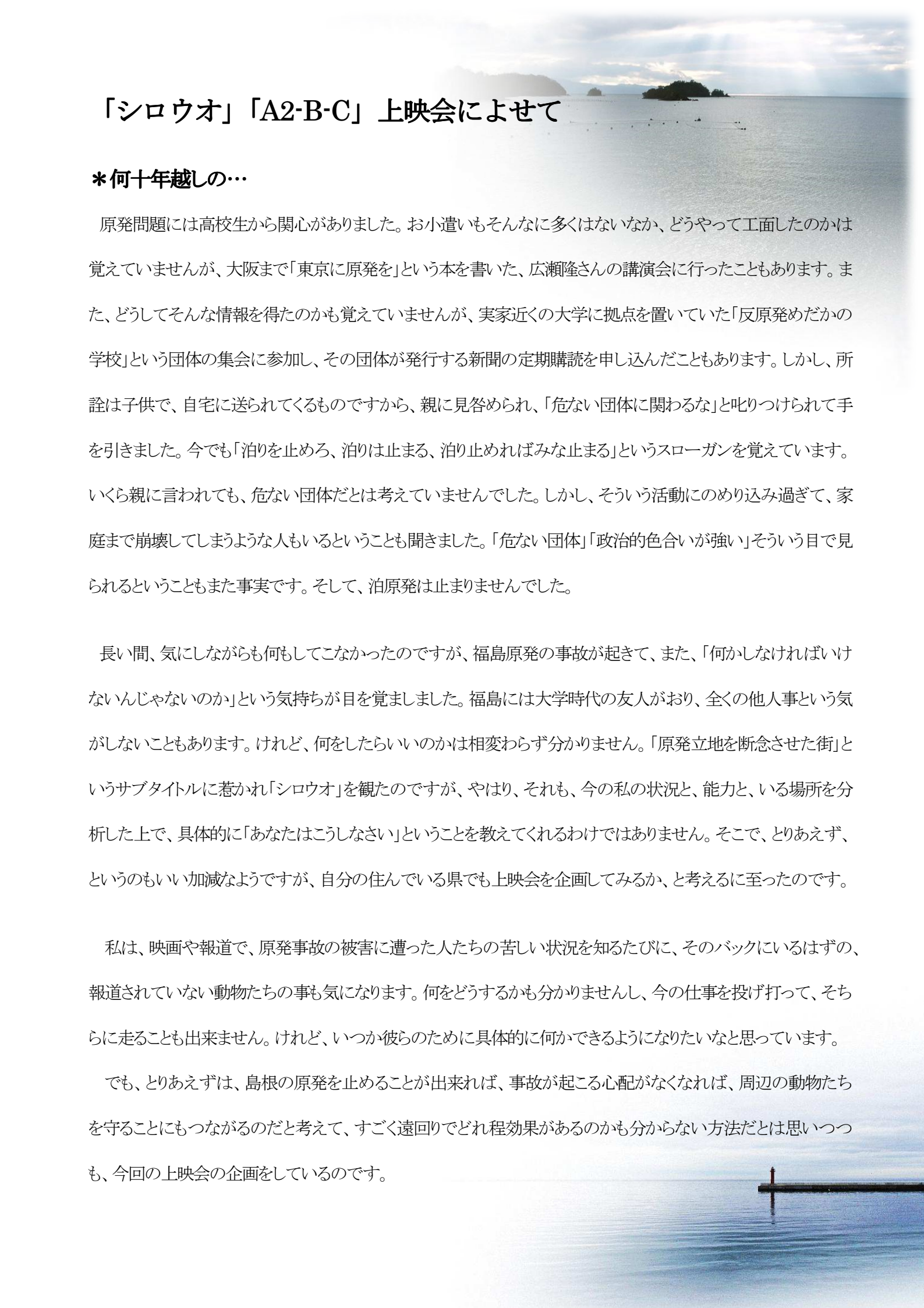
監督:イアン・トーマス・アッシュ

プロデューサー:コリン・オニール

撮影:イアン・トーマス・アッシュ

時間: 71分

製作年:2013年



「シロウオ」「A2-B-C」上映会によせて

*何十年越しの…

原発問題には高校生から関心がありました。お小遣いもそんなに多くはないなか、どうやって工面したのかは覚えていませんが、大阪まで「東京に原発を」という本を書いた、広瀬隆さんの講演会に行ったこともあります。また、どうしてそんな情報を得たのかも覚えていませんが、実家近くの大学に拠点を置いていた「反原発めだかの学校」という団体の集会に参加し、その団体が発行する新聞の定期購読を申し込んだこともあります。しかし、所詮は子供で、自宅に送られてくるものですから、親に見咎められ、「危ない団体に関わるな」と叱りつけられて手を引きました。今でも「泊りを止めろ、泊りは止まる、泊り止めればみな止まる」というスローガンを覚えています。いくら親に言われても、危ない団体だとは考えていませんでした。しかし、そういう活動にのめり込み過ぎて、家庭まで崩壊してしまうような人もいるということも聞きました。「危ない団体」「政治的色合いが強い」そういう目で見られるということもまた事実です。そして、泊原発は止まりませんでした。

長い間、気にしながらも何もしてこなかったのですが、福島原発の事故が起きて、また、「何かしなければいけないんじゃないのか」という気持ちが目を覚ました。福島には大学時代の友人がおり、全くの他人事という気がしないこともあります。けれど、何をしたらいいのかは相変わらず分かりません。「原発立地を断念させた街」というサブタイトルに惹かれ「シロウオ」を観たのですが、やはり、それも、今の私の状況と、能力と、いる場所を分析した上で、具体的に「あなたはこうなさい」ということを教えてくれるわけではありません。そこで、とりあえず、というのでもいい加減なようですが、自分の住んでいる県でも上映会を企画してみるか、と考えるに至ったのです。

私は、映画や報道で、原発事故の被害に遭った人たちの苦しい状況を知るたびに、そのバックにいるはずの、報道されていない動物たちの事も気になります。何をどうするかも分かりませんし、今の仕事を投げ打って、そちらに走ることも出来ません。けれど、いつか彼らのために具体的に何かできるようになりたいなと思っています。

でも、とりあえずは、島根の原発を止めることが出来れば、事故が起こる心配がなくなれば、周辺の動物たちを守ることにつながるのだと考えて、すごく遠回りでどれ程効果があるのかも分からない方法だとは思いつつも、今回の上映会の企画をしているのです。

*責任はだれが？

原発事故が起これば、だれが責任を取るのだろうか？誰も責任を取れないのではないかなあ？ということはよく考えます。信念をもって反対している立場の人の話だけではなく、そうでない側の話も聞こうと思い、県の避難説明会などに出かけていったこともあるのですが、イマイチよくわかりません。

機械的に、この地域の人は、ここに受け入れが決まっています、と説明されても、疑問ばかりがこみ上げてきます。「で、そうなった場合、いつ、避難が解除されるか目安はあるのですか？長期避難となった際に、各自が生活していくための仕事も得られるという保証はあるのですか？島根県だけではなく、複数の県の原発で同時に事故が起きた場合の事は考えていますか？想像以上に被害が大きく、避難先に指定されている区域の人たちも非難しなければならないような状況に陥る可能性はないのですか？」などなど。こんな質問をしても、県の担当の人も、答えられずに困るのではないかな、と思って口をつぐんでいましたけれど。

原発事故のような大きな問題に限らず、職場や家庭での小さな規模の問題に関してでも、「あなた、責任を取るとか言っても、取れないでしょう。結局、ワリを食らうのは私なんじゃないの？」と言いたくなるような事、皆さんそれぞれ、経験されているのではないのでしょうか。

*抑止に秘められた、本当の意味での推進を考えていきたい

原発の問題も、環境などの問題も同じような面がある気がします。

「原発立地で、これだけ補助金が出て、経済効果もありますよ」「安全ですよ」というような、推進側の言葉は耳に心地よく、「これだけ危険で、実際に事故も起こっています」というような抑止側の言葉は不愉快です。

「開発でこれだけ利益が上がりますよ」「獣害が出ているから、とにかく駆除して私たちの安全と利益を守りましょうね」というような推進側の言葉は、やはり耳に心地よく、「他の生物を守ることは、最終的に、人間も守ることにつながるので、少しここは控えて、多少不便でも彼らとの共存を図りましょう」というような抑止の言葉は煩わしい。最終的にと言っても、そこにたどり着くまで、どれだけ長いプロセスがあるのか、という感じです。

でも、私は、そういった、抑止に秘められた、本当の意味での推進を考えていきたい気がします。そんな壮大なことを言っても、実際にやっていることは小さいですし、日々の雑事に汲々としているのが実情ですが、それでも、この上映会も何かの足しになればいいなと願っています。

歳代	性別	地域	感想 《 》内はスタッフ追記
20	女	松江市	私は仙台の大学に通っていました。在学中に震災が起こり、現在、東北に住んでいる友人も多いので他人事ではないとずっと思っています。今回映画を観させていただき、さらに考えていかなければいけない問題だと思いました。ありがとうございました。
40	女	雲南市	福島現状を知り驚きました。何が自分にできるのかを考えたいです。
40	男	広島県	かさこさんが素直に3.11前の考え、それ以後の思いを話して下さい、その思いにムリがなくてとても納得出来ました。原発は地球も家族も人のつながりもばらばらにする。このことだけでも原発はいらないと思います。原発建設を止めた地域は30もあるのですね。上関原発も原発輸出も絶対に止めましょう。 A2-B-Cで語られる言葉一つ一つがとても大切だと思いました。また、自分の近くの地域でも自主上映出来るように進めていきたいと思っています。ありがとうございました。
40	男	益田市	福島は今も犠牲にされ続けている事実に関怒りと衝撃を受けました。許せない！
40	女	益田市	元気な子どもたちの声、子どもは希望・生なのに、その周りに死みたいなものがある。大人になって年を重ねて検査をするのも不安なのに、子どもがそれを受けとめなくてはならない、子どもの気持ち、そして親ごさんの気持ちを考えました。エコーを撮っている不安そうな女の子、抱きしめたくまりました。 福島・・・、松江だったかもしれないのです。胸にせまります。
40	男	益田市	人間が生きていく上で、どのような環境が大事であるか。自然や土地にしっかりと向き合っている人には、そこを見通す事ができるのだらうと感じました。安易な目先の金に惑わされず、人間の根幹をしっかり見つめることが大事ですね。
40	女	松江市	勇気を持って又は止むに止まれぬ思いで素直に語られたお母さん方の後に、声を上げたくてもそう出来ない人たちがたくさんおられることを忘れてはいけません。このような事実を何故、テレビでも新聞でも特集しないのか！そうでなければ、人々が積極的にこのような情報を求めていくより他、これからの子どもたちの希望を何とかつないでゆく道はないのでしょうか？
40	女	松江市	時間が長いので（家の者に）見てもらうのが大変だなと思ったのですが、今日来てやっぱり良かったです。シロウオもA2-B-Cもとても良かったです。 重い話ですがとってもとっても大切な話で、もっと多くの人に触れてほしいです。上映、ありがとうございました。



歳代	性別	地域	感想 《 》内はスタッフ追記
40	女	益田市	この間、テレビで、「シカとスズ」《「シカとスズ 勝者なき原発の町」(日本テレビNNNドキュメント2014)》福井で原発ができた町と止めた町のことをみました。そして今回。やはり止められた町の方々は「止めてよかった」と。もっともだと思いつつ、原発がある町の者としては(実家が松江市)、少々切なくもなりました。でも、ものすごい覚悟と戦いで止められたのでしょうし、また、「こういうことがあるから原発はいかんです!」と涙を流された酪農家の方の様子を見てグッと来ました。 あと、最初、「和歌山は豊かだったから」と聞いて、「ああ、だから・・・」と思った自分。京大の方《小出裕章先生》が「豊かさを海に感じる、そういう生き方をしてこられたからだ」の言葉に「はっ」としました。 原発ができた頃、父と一緒にアトム館《島根原子力館》に行きました。私はほんの子どもで父は「すごいだろう」と得意げでした。また父は教員をしていたので、「補助金でこんなものが・・・」と明るい顔で言っていました。今、父はどういう気持ちでいるのだろう・・・と聞いてみたいけど聞けずにいます。 今でも「原発を再開して欲しい」と各地の声を聞きます。「安全なんだから」と。・・・原発再稼働に世の中が動いていることにもどかしい気持ちです。でも、諦めたらいけないのだと思いました。
40	女	松江市	松江は福島が他人事ではありません。なのに利害がからむ人・事が多く、色々な活動もやりにくく話もしにくい事があります。「お金より大事な物がある」と原発を作った時には当時の人達は分からなかったのでしょうか?安全神話と言われていたくらいですもんね。その結果が「A2-B-C」です。現実になっています。チェリノブイリが日本でも起こりました。母である私達はもっと知らねばなりません。
40	女	米子市	2本ともとてもわかりやすい内容で、大切なことをきちんと伝えてくれているので、たくさんの方に見ていただきたいと思います。たまに、「もうどうしようもないのか」と落ち込みますが子供たちのためにあきらめず活動できることを見つけていきたいです。上映して下さってありがとうございました!
50	男	松江市	すべて証言で構成されており、原発に対する市民の本当の声が伝わってくる内容でした。
50	男	出雲市	非常に不愉快です。チケットに表示されている上映時間の件ですが、PM16:55~「シロウオ」上映後に引き続いて監督トークが行われると解釈しました。結局ラスト10分間程しか鑑賞できませんでした。《大変失礼しました。ご指導ありがとうございます。これからも分かりやすい表示に努めます。》

日本在住のアメリカ人監督イアン・トーマス・アッシュが
カメラにおさめた“フクシマ”



歳代	性別	地域	感想 《 》内はスタッフ追記
50	女	鳥取市	・ A 2 - B - C 2012年当時の福島の実状を見ると原発が取り返しの付かない苦しみを人々に与えることを改めて感じました。現在2015年は悲しいことに放射能の不安を口にすることさえ許されない雰囲気であると聞いて、出演者がどのような状態にあるか心配になります。 ・ シロウオ 対照的に原発建設を許さなかった人々の話で、どの方々も幸せそうに見えました。鳥取もまた同様な経験をしています。福島原発事故後の今となっては、それだけではすまないことも現実です。 日本中にある原発をなんとかしなければ、せっかく残された美しい自然も結局汚染されてしまうことが分かったからです。本当に原発を廃炉にできたとき、初めてほっと出来るのだとすると大変ですが、まだまだずーと闘い続けなければならないのだと感じます。
50	男	松江市	・ シロウオ 原発を止めた町、以前キネマでも上映した劇映画《渡されたバトン》とともにドキュメンタリーとして貴重な証言も今の私達に十分伝わってくるものですね。 ・ A 2 - B - C 福島の実状についていろいろな話が飛び交っていますが、何が本当の実状なのか分かっていない。テレビ、新聞に頼らない、現実をしっかりと見つめていくことが必要ですね。
50	女	松江市	映画を観て良かったです。これを伝えていくことが大切です。「止めた町」のように「止められる力」を持ちたいです。
50	女	松江市	誰も責任を取れないとんでもない被害を及ぼすものを絶対作ってはいけません。稼働させてはいけませんと強く思った。 全体で・ ・まず情報を得て、判断し、理性ある人間として選んだことが後々の環境や健康や人生を決める！！現在の状況はすべて過去に自分が選択したものの結果であることがひしひしと伝わった。環境ホルモン、遺伝子組み換え、原発とお金や目先の利益に浅はかにもとらわれ、取り返しの付かない事にならないよう今自分に出来ることをしたいと思った。
50	男	松江市	反対して良かったという話が印象的でした。
50	男	安来市	多くの人に見て頂きたいです
50	女	米子市	原発に反対した人々のエネルギーを感じることができました。人と人がしっかりつながることが、おかしいことをおかしいと言える世の中を作ると信じています。どうもありがとうございました。



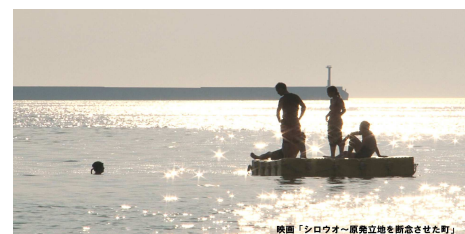
歳代	性別	地域	感想 《 》内はスタッフ追記
60	女	出雲市	・ シロウオ 若い方には原発建設を阻止したところがたくさんあることを知らない。建てられた所にも反対していた人達がたくさんいたことも。若い世代に伝えていかなければと思います。 ・ A 2－B－C 映画には福島県のことあまり出ませんでした《？》他の本で県も放射線の影響を過小評価しようとやっきになっていることを知りました。いざ島根原発で事故が起きたら島根県も松江市も住民の不安に本気で答えるでしょうか？きっと福島と同じではないでしょうか？
60	男	大田市	時間的に厳しかったですが頑張って来て良かったです。また、10分遅れのサブ会場、さすがのご配慮に恐れ入りました。感謝します。大田市の人にも（少数でも）観て欲しいところです。
60	女	松江市	赤旗日曜版で知りました
60	女	松江市	・ シロウオ 全国で30ヶ所以上で原発立地反対をした人がいること。会場で「松江は受け入れた。なぜ反対できなかったのか？どこが差か？」と問われた。金で人を分断する方法は映画「渡されたバトン」で知った。紀伊水道の海を守った素朴な漁師さんの力がすごいと思った。できた原発を動かさないで廃炉にする動きも私達が怒ればできそうな気がしました。良いドキュメンタリーをありがとうございます。 ・ A 2－B－C まずはじめに子どもたちが放射能の線量の高いところで遊んでいることにショックを受けました。お母さんが「おかしいと思う自分が間違っている錯覚に陥る」と思う同調圧力は苦しいものだと思います。ガラスバッジをつけて登校する世の中は何をか言わんや！できることはなにか！芦原さんを主に運動を続けるパワーをもらいました。NHKでも放送しろ！
60	男	松江市	「シロウオ」安いものを求める人間性。金のために心動かされ、そして他者と比べ反目する。良い点を突いていたと思います。（何故、誘致せずに済んだのか？）
60	女	松江市	松江の現実のなんとさみしいことか。県庁より車で30分もかからない所にある原発は何処にもない。民意の低いことおびたしい。
60	男	松江市	除染はナンセンスだと思っていましたが、福島の人達が効果があると信じているような雰囲気日本全体にある。もっと多様な意見を色々な手段で発表すべきです。
60	男	松江市	私も今迄は原発必要と考えていたが、これから想定される自身、災害等を考えればリスクが大きい。廃炉に向けて今後予測がつかない事象と金。誰一人答えが出せないでいる。



歳代	性別	地域	感想 《 》内はスタッフ追記
60	男	松江市	今日は天気が良くて畑の作業があったのですが、観ておかなければいけないと思い、午後に家を出て会場に。そしてやっぱり観てよかった。本当に良かったと。観なかったら後悔しただろうと思いました。 嘘っぱちの日本に腹を立てていましたが、腹を立てていてもどうにもならないと知ったとき、今 その日本にいる私は何をしたらいいのか考えなければいけないと思います。 小学生の言葉「僕たちが変えていかなければいけない」と言っていた子供たちのカメラを見ている瞳に「どう答えるのか、お前は」と言われているようでした。日本は信用出来ないから、世界に守ってもらうといいながら、自分で計測して世界に発信しているお母さんの姿……。いろいろなことを考えさせられました。ありがとうございました。感謝！
60	女	松江市	原発は必要ないと言うことをひとりでも多くの人達に伝えなければならぬ気持ちになりました。マスコミは事実を伝えず、安全神話を作り上げ報道していることに腹が立ちます。 次回作を作られることを待ち望んでいます。ありがとうございました。
60	男	松江市	映画の構成が今ひとつでしたが、初めて原発映画をみて感動しました。ちょっと日本人を見直しました。比べて島根人（出雲人）は補助金大好きな人達が多いです。今日は満席だと思って30分前に来ましたが、空席が目立って残念です。やはり、島根のひとたちだなと思いました。
60	男	松江市	とても、いい話ばかりでした。ていねいな取材で、脱原発はどう対応しなければならなかったのかがよく解った気がします。
60	女	松江市	島根原発では再稼働を阻止したいとデモに参加しています。再生可能エネルギーの推進に力を尽くしたいと思います。 シロウオでは守るべき海、家族、子、孫、仕事、自然をしっかりと守り通した姿に感動しました。
60	女	松江市	シロウオの漁師さんが「自分は原発賛成だった」と言った。人はその時々で意見は変わっていくものだと思った。元教師が「戦前は軍国主義が正しいと思ってやっていた」という話もそうだ。 人が自然の中の一部であることや生命の原点を考える機会や関わりが出来るかどうかで違ってくるのでしょうか。
60	男	松江市	シロウオの映画は内容がよく分かった。発言に説得力があった。
60	女	松江市	くやしい、理不尽。その中に閉ざされている女性たち、母親の心。絶対原発はゼロに！ 海の人たちよくやった、どこからくる力の源。地方の風土か、人間は皆同じ。原発反対！絶対の決意新たに！



歳代	性別	地域	感想 《 》内はスタッフ追記
60	女	松江市	・ シロウオ 原発立地を断念させた町がこんなにたくさんあったのかとびっくり。立地が決まると国の大きな力の前に住民の無力さをいっぱい見てきたのだが、素朴な住民の思いが大きな力になることに勇気をもらいました。3号機動かさないよう頑張りましょう。 ・ A2-B-C 話では聞いていたが、記録映画で観ることができてよかった。福島県立医大、福島県の陰謀にギョッとします。
60	女	安来市	地域のボランティア団体等で情報を得ることはありますが、自ら進んでとは・・・と考え直しました。午前中に地域の自主防災研修時に福島から島根に避難し生活している方の話を聞く機会を得ました。厳しい現実の話を聞き、今日の映画やトークと合わせ、しっかりと現実を見つめ自分だけでなく伝えていくことの大切さを感じました。日々の生活に追われているのも感じています。今日はありがとうございました。
60	女	米子市	3.11の原発事故で恐ろしさを痛感しました。福島が元の姿に戻るのに、どれだけの年月が、かかるのかと思うと、もう、原子力の力を借りての、便利さを追求する生活より自然を大切にする方向で生きていこうと改めて考えさせられました。
70	男	出雲市	貴重な映像を鑑賞させていただきありがとうございました。
70	男	松江市	有意義な上映会開催有難うございました！各種取り組み頑張りましょう。ヘイトスピーチ学習会参加協力よろしく！
70	女	松江市	大変勉強になりました。皆様が大変な思いをされたのですね。涙が出てたまりませんでした。主人の事もよくわかりました。ありがとうございます。
70	男	松江市	今では現地も反対していると思うが？島根原発の歴史、闘争など後世に残したい。30分程度の画像で！
70	男	松江市	原発事故の映画を見ながら、第二次大戦のことを考えました。やはり予防は大切です。PTSD《心的外傷後ストレス障害》対策も。多くの場所での上映を期待します。
70	女	松江市	原発は必要悪だと思っていた人が事実を知っていくにつれて、原発の恐ろしさ、問題を理解してゆく。「シロウオ」に感動しました。政治の問題ですね。
70	女	安来市	良かったです。
-	-	-	大事故はもとより、時に放射能モレはアルという事実。その間も人の身体は損なわれる。問答無用論へ！原発反対！



映画「シロウオ～原発立地を断念させた町」